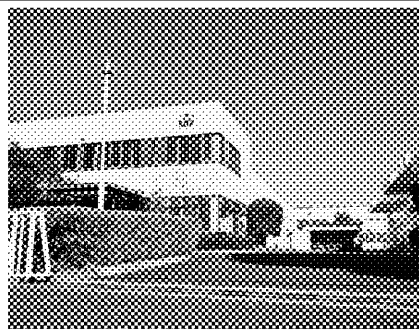


菊地歯車、新工場を稼働

芳賀町に 車大手に高級ギア

【宇都宮】菊地歯車（栃木県足利市、菊地義典社長）は、芳賀工業団地（栃木県芳賀町）で宇都宮工場を稼働した。大手自動車メーカー向けにハイグレードギアを製造する同業他社の全株式を取得し、開設した。取得先企業や取得額、生産能力は非公表。既存の設備と技術力を多分野の歯車製造に活用するとともに、同工場の操業により、短納期製作や試作部品製作への対応力向上も見込む。

同社8カ所目の工場で足利市外では初。敷地面積9590平方メートル、延べ床面積2430平方メートル、工場棟は3棟で従業員約20人。取得先企業はレーシングカー向けや試作車向けに歯車を製造してきた老舗で、小ロット品を短納期で高精度に仕上げるノウハウを強みとする。同社は後継者不在で廃業へ向かっていたが、菊地歯車が



土地、建物、設備を取得し、従業員もほぼ残留した。従来は特定顧客に特化していたが、菊地歯車が手がける航空宇宙菊地社長は「ハイグレードギアを作り込む技術があり、設備は高級品ぞろいで人にも魅力がある」と説明する。

同業他社の土地、建物、設備を取得
▲ ほか分野の歯車も製造したい考え。今後1年程度で国際標準化機構（ISO）規格など菊地歯車と同等の認証を取得する。